議事　１

校章の方向性について

１　校章の制作時期

【案】　開校前に作成
　検討事項：体操着に校章を入れるかどうか。

参考：平成以降に開校した町内学校の例
　みどりが丘小・上野台中・欅台中の校章は開校後、公募により決定。
　小川中の校章は開校前、公募により決定。

２　校章の制作方法と決定の流れ

【案①】　公募
　メリット　：数多くのデザインを広く収集することができる。
　デメリット：フリーハンドによるデザインは修正が必要となる。

【案②】　教職員へ依頼
　メリット　：教職員は地域や学校のイメージを把握している。
　デメリット：デザイン数は少なくなる。

手順	【案①】公募	【案②】教職員へ依頼
1	校名班にて募集要項の検討 例：公募範囲、条件等	校名班にて誰に依頼するか検討 例：１人か複数人か等
2	募集期間（２～３カ月）	制作期間（２～３カ月）
3	校名班にて一次審査	校名班にて一次審査
4	商標調査（１カ月）	商標調査（１カ月）
5	統合準備委員会で決定	統合準備委員会で決定

参考：小川中の例
　5～6 月に募集、7 月に一次審査と商標調査、8 月に統合準備委員会で決定